

佐野れいじ区議会レポート

平成28年第1回定例会予算特別委員会で総括質疑に立つ

中野区議会自由民主党議員
佐野れいじ

発行：平成28年3月

中野区の平成28年度予算(案)などを審議する区議会第1回定例会が2月17日に開会しました。

私は3月1日の予算特別委員会の総括質疑に立ち、1)区の職員評価とその処遇について。2)「空き家」対策とその利活用について。3)「哲学堂と中野のまちを楽しむ本」についての3項目にわたって区の見解を質しました。

質問2)と3)に関しては中野区の、平成28年度予算案(一般会計で1,283億1,200万円)内の使われ方についての質疑になります。

詳細については、後日私のWEBサイトに掲載致します。

1) 区の職員評価とその処遇について

現在の評価システムは各分野の統括管理者が担当職員の「業績」と「能力・態度」を絶対評価の手法で5段階評価(1次評定)し、さらに各部長が相対評価(第2次評定)して、その結果を翌年度の昇給と勤務手当に反映させる処遇にばらつきや歪みがないのかを質しました。



佐野れいじ で検索



2) 「空き家」対策とその利活用について

空き家対策事業として、平成28年度は2,391万4,000円の予算が計上されました。私は、空き家対策はその利活用も含めて考えないと解決しない、空き家を持っている人とその利用を希望している人とのマッチングさせるための体制づくり、さらには空き家を単に撤去するだけでなく、周辺の建物と共同化を図り、居住者の増加などの地域の活性化を進めるべきだと述べました。

3) 「哲学堂と中野のまちを楽しむ本」について

今年1月18日、「東京人」2月増刊号として『哲学堂と中野のまちを楽しむ本』が発行されました。区はこの本の出版に昨年度932万3,000円を予算計上し、さらに今年度529万8,000円の予算を組み、多言語による哲学堂周辺ガイド観光ガイドを作成します。私は費用対効果の問題や、他の地域の観光について質しました。